

## 受講者募集 第14回 トレーニング科学・国際集中講座 in Leipzig 2018

- 主催：ライプチヒ大学・スポーツ科学部（ドイツ・ライプチヒ市）  
協賛：国立応用トレーニング研究所（IAT）、ライプチヒ・オリンピック強化センター（OSP）、ライプチヒ・スポーツギムナジウム（10～19歳のスポーツタレントの専門学校）、各スポーツクラブ  
後援：ライプチヒ市スポーツ局  
主会場：同大学スポーツ科学部  
渡航期間：2018年2月22日（日本発）～3月06日（日本着）＝合計11泊13日（講座期間：2/23～3/4）。  
現地集合：**ライプチヒ空港・到着ロビー**  
\*夕方、全員到着後、貸切バスにて市内ホテルへ。尚、20時以降に到着のばあいには、個人でホテルに来ていただくことが予想されます。  
\*日本・各空港/ライプチヒ間の往復フライトチケットは受講者個人で購入してください。  
募集人数：最少12名～最多30名  
受講対象：大学生、専門学校生、スポーツ教職員（小・中・高・大学）、クラブ指導者、公共団体等の指導者など  
言語：ドイツ語（講義や座談会、討論会など=日本語通訳、その他=可能な限り通訳ガイド）  
その他：同大学スポーツ科学部公認の修了証書交付。  
募集：2018年1月10日まで（最多定員数に達し次第締切）。

当集中講座（略称：ライプチヒ講座）はコレスポが2003年以降、ライプチヒ大学スポーツ科学部との交流協定にもとづき、毎年取り組んでいる伝統的的事业です。当講座への関心は徐々に増しており、今回で14回めになります。さらに2010年からは集中講座 in Japan（略称：ジャパン講座）を毎年11月後半に開催しています（今年は第8回：**別添のとおり**）。また、2011年からはライプチヒ大学公認“**コーディネーショントレーナー**”の資格認定制度がスタートしました。ちなみに両講座の修了が資格認定試験を受ける前提条件です（詳細：**別添のとおり**）。

1409年創立のライプチヒ大学はドイツ最古の大学のひとつで、「スポーツ科学」（身体教練）学科については1920年代、ドイツでは初めて開設され、その科学研究は、旧東独時代に最盛期を迎え、マイネル「動作学」やハレ「トレーニング学」、ホッホムート「バイオメカニクス」、ティッテル「機能解剖学」などが世界ではじめてスポーツ科学の基礎をつくりました。こうした成果は東西ドイツ統合後も引き継がれ、現在では「ライプチヒ学派」と称されています。講座内容は、主にライプチヒ学派が提唱するトレーニング科学の全体系に及んでいます。

今回の講座概要は、**別添のとおり**です。2014 サッカーW杯ブラジル大会ではドイツが優勝しました。勝因はさまざまですが、その背景を今回の講座をとおして垣間見ることができるでしょう。そのキーワードは、ジュニアトレーニングに不可欠な運動能力であるコーディネーションとスピードの位置づけ、また個体発生論、適性診断（タレント性の認識法）などの基礎知識です。また、全競技に欠かせない「スピード」の理論をまなぶと同時に、実際のスピードトレーニングの見学も行なう予定です。

日本でも「コーディネーション」のトレーニングが注目されてきていますが、ライプチヒ学派ではすでに50年ほど前から実践指向的な研究が続けられており、先駆的な基礎理論を学ぶことは意義深いと言えます。

数多くの講義が用意されていますが、それらのテーマを個々バラバラではなく、相関的に論じ、集中して取り組めるような講座は他に例がないと思われます。

またライプチヒは、バツハやゲーテなどゆかりの文化史跡も豊富で、歴史的な街の雰囲気も大きな魅力のひとつです。宿泊先は、快適な滞在環境のもとで講座などに集中できるよう、市街地中心のウェスティンホテル（First Class＝会場までトラム5分）です。

全滞在日程は以下のとおり3つのメインテーマで構成されています。合計22単位（1時限；90分）の基本講座の他、課題別行事としてスポーツ関連施設の見学や特別テーマにかんする座談会などを予定しています。また、自由時間を利用して見学できるよう、スポーツクラブなどのトレーニングスケジュールを準備手配します：

1. トレーニング科学の基礎（情報とエネルギーの一体性）
2. スポーツ関連施設の訪問（スポーツクラブ、スポーツエリート校、国立応用トレーニング研究所など）
3. トレーニング見学/ドイツ分化史跡の訪問など。

2009年に発足した地元サッカークラブ「RBライプチヒ」は、すでに1部昇格を果たし、上位に急成長したいへん注目されています。当クラブのジュニアトレーニングなどの見学を予定しています。

参加費用：**一般**（お一人）＝¥228,000-（**学生およびリピーター**：¥215,000-）

上記費用に含まれるのは、宿泊料金（ツイン、朝食込み）、受講費用、ライプチヒ空港/ホテル間往復バス代およびエクカーション（各日曜日の2回）のバス代ならびに滞在中の市内交通費（トラム）などです。上記以外の費用（昼食や夕食、エクカーションの際の各入場料や滞在中の試合観戦チケット代、修了式会費；¥2,000-程度など）は自己負担です。往復航空運賃（日本の各空港/ライプチヒ間）は含まれていません（各個人で予約購入）。昼食は大学食堂&喫茶（安価）を利用できます。ちなみに滞在中の個人支出費用の目安は1日2,000円程度です。なお、シングル利用のばあい、追加料金は**4万5千円**です。参加者の男女構成によっては、シングル利用になる場合がありますのでご了承ください（そのさいは申し込み順を優先）。

申し込み方法：**別添”受講申込から現地集合まで”**をご確認ください。ご確認後、下記アドレス宛に、「第14回ライプチヒ講座」受講希望の旨お知らせください。定員数に達していなければ受講申込書を送信いたします。なお、予約金は¥30,000-（参加費用の「内金」）です。

**申込み・問い合わせ**： KoLeSpo（ライプチヒスポーツ科学交流協会） 事務局  
担当： 高橋 日出二（スポーツコーディネーター）  
〒272-0131 千葉県市川市湊15-8-502  
TEL 047-315-6094 / 携帯 090-9207-9399  
E-mail: [sport.taka@h2.dion.ne.jp](mailto:sport.taka@h2.dion.ne.jp)